

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	健康福祉部	課	高齢福祉課	係	高齢者支援係
担当者	浦松 良子			直通	25-5032	内線 2776

①整理番号	章	3	節	2	具体的施策No. 施策名	25. 認知症支援体制の充実	
②事業No.事業名	104. 認知症サポーター養成講座 認知症初期集中支援チーム				事業実施 期 間	R3	～ R7
③新規・継続	継続	④事業区分	補助	国補助率	38.5%	府補助率	19.25%
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)							

⑥事業が目指すSDGsの目標

⑦事業の概要及び目的

①地域で暮らす認知症高齢者が増えることが予期されるため、認知症の人とその家族が安心して暮らせるよう、認知症に関心をもち、正しく理解している市民が増え、知識や理解不足による誤解や偏見をなくすることが大切です。認知症高齢者を見守る体制づくりに向けて認知症サポーターの養成講座を開催します。
②認知症の早期診断・早期対応につなげるため、認知症初期集中支援チームでの取り組みを継続します。

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組		事業費（円）	（活動）指標値
R3	計画	①認知症サポーターの養成講座を実施 ②認知症初期集中支援チームでの対応	6,500,000
	実績	①認知症サポーターの養成講座を実施、オレンジライトアップ・チラシの啓発 ②認知症初期集中支援チームでの対応	4,806,047
	達成度	達成度（R3年度～R7年度累積）	55.56 % 11.11 %
R4	計画	①認知症サポーターの養成講座を実施 ②認知症初期集中支援チームでの対応	6,311,000
	実績	①認知症サポーター養成講座を実施、オレンジライトアップ・チラシでの啓発 ②認知症初期集中支援チームでの対応	3,145,898
	達成度	達成度（R3年度～R7年度累積）	71.67 % 25.44 %
R5	計画	①認知症サポーターの養成講座を実施 ②認知症初期集中支援チームでの対応	1,717,000
	実績	①認知症サポーターの養成講座を実施 ②認知症初期集中支援チームでの対応	505,730
	達成度	達成度（R3年度～R7年度累積）	86.1 % 42.66 %
R6	計画	①認知症サポーターの養成講座を実施 ②認知症初期集中支援チームでの対応	1,728,000
	実績	①認知症サポーターの養成講座を実施 ②認知症初期集中支援チームでの対応	114,220
	達成度	達成度（R3年度～R7年度累積）	50.56 % 52.77 %
R7	計画	①認知症サポーターの養成講座を実施 ②認知症初期集中支援チームでの対応	1,333,000
	実績		
	達成度	達成度（R3年度～R7年度累積）	% %

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方	①認知症サポーターの養成講座の開催実績を、定量的な活動指標とする。 ②毎月1回開催することとしている認知症初期集中支援チーム会議、年1回開催予定の認知症初期集中支援チーム検討委員会の開催実績を、定量的な活動指標とする。
------------------------	--

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果) 指標値
期間を通じた目標	①認知症に関する相談窓口を知っている割合 ②ケースが概ね6か月で医療・介護につながる割合	①50% ②100%
R3	実績 ①認知症に関する相談窓口を知っている割合 ②ケースが概ね6か月で医療・介護につながる割合 ③人材育成部会による「認知症についての回答集・事例集」の作成	①31.7% ②100%(3件/3件) ③1回
R4	実績 ①認知症に関する相談窓口を知っている割合 ②ケースが概ね6か月で医療・介護につながる割合	①31.7% ②100%(1件/1件)
R5	実績 ①認知症に関する相談窓口を知っている割合 ②ケースが概ね6か月で医療・介護につながる割合	①28.3% ②0%(0件/1件) 現在も協議中。 機会を設けるもつながらず
R6	実績 ①認知症に関する相談窓口を知っている割合 ②ケースが概ね7か月で医療・介護につながる割合	①28.3% ②100%(4件/4件)
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	当該事業及び取組の目的が達成されるためには、より多くの人に認知症サポーター養成講座へ参加していただくことが必要であると考えます。 チーム員会議の場を活用した支援相談などの実施を継続します。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R3)認知症サポーターは、認知症の正しい知識を持ち、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者です。本市では、地域住民や商業施設、小学校など幅広い立場の人に広がっています。今後も、認知症サポーターについて周知し、認知症の見守り体制づくりを進めていきます。 認知症の早期診断・早期対応に向けた支援体制が構築できることを目的に認知症の専門医の指導の下、専門職が対象者に訪問を行い、認知症の包括的観察・評価に基づく初期集中支援を行っています。周知・支援相談などの実施を継続します。 また、人材育成部会による「認知症についての回答集・事例集」を作成し、在宅に関わる部会へ発出しました。
進行上の課題や問題点	(R5)認知症初期集中支援チーム員会議では、半年以内に医療機関につなげる事としていますが、家庭内にキーパーソンがない場合、機会を設けてもつながりにくく、状況を見てからの対応となるため時間を要することが課題である。第9期プランの調査結果から「認知症の相談窓口を知っている人が30%以下であるため、より周知が必要である。
変更した理由	(R6) 認知症初期集中支援チーム員会議の開催方法を変更した。これまでは対象者と対応方針を決定するチーム員会議が月1回と定められており、相談しても対応までに1か月近く時間がかかるため対応が遅れ、会議が使いづらいものとなっていた。そこで、対象者と方針の決定は課内協議で実施し、ケース把握後から2週間以内に支援を開始することとした。チーム員会議は必要時実施することとした。
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	健康福祉部	課	地域福祉課	係	地域福祉係
担当者	裏川 千代子		直通	25-5029	内線	2714

①整理番号	章	3	節	4	具体的施策No. 施策名	36. 多機関連携による支援体制の整備①	
②事業No.事業名	120. 重層的支援体制整備事業				事業実施期間	R3	～ R7
③新規・継続	新規	④事業区分	補助	国補助率	75%	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)							

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 気候変動に具体的な対策を	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがい、経済成長を促進	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくも責任、つながら責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	

⑦事業の概要及び目的

8050問題やひきこもりなど、解決が困難でさまざまな関係機関が連携して支援していく必要がある課題に対応するため、分野横断的な支援体制や、市民、地域、関係機関、行政等がそれぞれの役割の中で重層的に支援する仕組みづくりの整備を進めます。
--

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組		事業費（円）	（活動）指標値	
R3	計画	関係機関との連携強化のための連携会議及び勉強会の実施回数	年5回開催	
	実績	関係機関との連携強化のための連携会議及び勉強会の実施回数	年10回開催	
		達成度		100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		20 %
R4	計画	関係機関との連携強化のための連携会議及び勉強会の実施回数	年5回開催	
	実績	関係機関との連携強化のための連携会議及び勉強会の実施回数	年13回開催	
		達成度		100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		40 %
R5	計画	関係機関との連携強化のための連携会議及び勉強会の実施回数	年5回開催	
	実績	関係機関との連携強化のための連携会議及び勉強会の実施回数	年16回開催	
		達成度		100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		60 %
R6	計画	関係機関との連携強化のための連携会議及び勉強会の実施回数	年5回開催	
	実績	関係機関との連携強化のための連携会議及び勉強会の実施回数	年14回開催	
		達成度		100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		80 %
R7	計画	関係機関との連携強化のための連携会議及び勉強会の実施回数	年5回開催	
	実績	達成度		%
		達成度（R3年度～R7年度累積）		%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方	重層的支援体制整備事業の令和6年度からの本格実施に向け、庁内及び関係機関と会議及び勉強会の開催を実施し、本格実施開始後も事業推進のため継続実施する。
------------------------	--

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果) 指標値
期間を通じた目標	重層的支援対応件数（実数） （支援会議取扱いを含む）	年間10件
R3	実績 重層的支援対応件数（実数） （支援会議取扱いを含む）	年間4件
R4	実績 重層的支援対応件数（実数） （支援会議取扱いを含む）	年間7件
R5	実績 重層的支援対応件数（実数） （支援会議取扱いを含む）	年間6件
R6	実績 重層的支援対応件数（実数） （支援会議取扱いを含む）	年間7件
R7	実績 重層的支援対応件数（実数） （支援会議取扱いを含む）	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	重層的な支援を進めていくために、重層的支援会議等に対応した件数（実数）を指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	健康福祉部	課	地域福祉課	係	地域福祉係
担当者	裏川 千代子		直通	25-5029	内線	2714

①整理番号	章	3	節	4	具体的施策No. 施策名	37. 「断らない相談窓口」の整備	
②事業No.事業名	123.福祉相談支援事業（福祉なんでも相談窓口）			事業実施期間	R3	～	R7
③新規・継続	継続	④事業区分	補助	国補助率	50%・75%	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)							

⑥事業が目指すSDGsの目標

1 貧困をなくそう	2 気候変動に具体的な対策を	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがい、経済成長を促進	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくも責任、つくる責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	

⑦事業の概要及び目的

<p>広範囲にわたる福祉施策がある中、相談先が分からないという市民ニーズに対して、課題を整理し、適切な支援につなぎます。また、社会的に孤立している人及びひきこもりの人等に対する相談窓口を開設します。</p>

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組		事業費（円）	（活動）指標値	
R3	計画	地域福祉支援員・精神保健福祉支援員（相談員）の配置	3人	
	実績	地域福祉支援員・精神保健福祉支援員（相談員）の配置	3人	
		達成度		100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		20 %
R4	計画	地域福祉支援員・精神保健福祉支援員（相談員）の配置	4人	
	実績	地域福祉支援員・精神保健福祉支援員（相談員）の配置	4人	
		達成度		100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		40 %
R5	計画	地域福祉支援員・精神保健福祉支援員（相談員）の配置	4人	
	実績	地域福祉支援員・精神保健福祉支援員（相談員）の配置	4人	
		達成度		%
		達成度（R3年度～R7年度累積）		%
R6	計画	地域福祉支援員・精神保健福祉支援員（相談員）の配置	4人	
	実績	地域福祉支援員・精神保健福祉支援員（相談員）の配置	4人	
		達成度		100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）		80 %
R7	計画	地域福祉支援員・精神保健福祉支援員（相談員）の配置	4人	
	実績	達成度		%
		達成度（R3年度～R7年度累積）		%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方	常に相談を受けることができる体制を整備するため、継続的に地域福祉支援員・精神保健福祉支援員（相談員）の配置を継続します。
------------------------	--

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果) 指標値
期間を通じた目標	相談対応延べ回数	400件以上
R3	実績 相談対応延べ回数	638件
R4	実績 相談対応延べ回数	479件
R5	実績 相談対応延べ回数	506件
R6	実績 相談対応延べ回数	737件
R7	実績 相談対応延べ回数	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	「福祉なんでも相談窓口」を広く周知することにより、市民の方が気軽に相談できる窓口を開設し、相談対応延べ件数を指標とする。
-----------------------	--

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	産業観光部	課	商工観光課	係	観光振興係
担当者		沼田 諒	直通	25-5034	内線	3115

①整理番号	章	6	節	3	具体的施策No. 施策名	17. 観光「亀岡」のPR 20. メディアの活用の充実
②事業No.事業名	278.283.情報発信事業			事業実施期間	R3	～ R7
③新規・継続	継続	④事業区分	単独	国補助率		府補助率
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)						

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

亀岡の新たな魅力づくりを進めるとともに、一般社団法人亀岡市観光協会や三大観光及び京都会おか観光PR大使と連携し、SNS等の多様なメディアの活用により、京阪神・中部圏等への観光キャンペーン及び観光PRの実施を促進します。

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組		事業費（円）	（活動）指標値
R3	計画	web広告（ディスプレイ広告、SNS広告等）の表示回数	3,000,000回
	実績	web広告（ディスプレイ広告、SNS広告等）の表示回数	3,381,687回
		達成度	100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）	20 %
R4	計画	web広告（ディスプレイ広告、SNS広告等）の表示回数	3,000,000回
	実績	web広告（ディスプレイ広告、SNS広告等）の表示回数	3,583,442回
		達成度	100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）	40 %
R5	計画	web広告（ディスプレイ広告、SNS広告等）の表示回数	3,000,000回
	実績	web広告（ディスプレイ広告、SNS広告等）の表示回数	1,584,975回
		達成度	53 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）	52 %
R6	計画	web広告（ディスプレイ広告、SNS広告等）の表示回数	3,000,000回
	実績	web広告（ディスプレイ広告、SNS広告等）の表示回数	943,303回
		達成度	31 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）	58 %
R7	計画	web広告（ディスプレイ広告、SNS広告等）の表示回数	
	実績		
		達成度	%
		達成度（R3年度～R7年度累積）	%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方
観光イベントや京都・亀岡観光PR大使が出演するイベントなどのweb広告の打ち出し回数を指標とする。
(カウント方法：広告インスペクタの活用)
観光PR大使による情報発信は随時行う。

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果) 指標値
期間を通じた目標	①観光入込客数 ②観光消費額	①2,400,000人 ②70億円
R3	実績 ①観光入込客数 ②観光消費額	①1,590,905人 ②48億円
R4	実績 ①観光入込客数 ②観光消費額	①2,326,370 ②63.7億円
R5	実績 ①観光入込客数 ②観光消費額	①2,773,307人 ②70.3億円
R6	実績 ①観光入込客数 ②観光消費額	①3,149,612人 ②79.8億円
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	観光入込客数、観光消費額を指標とします。
-----------------------	----------------------

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	(R5)R4に引き続き観光PR大使にイベント情報を提供し広報協力を呼びかけたほか、市内のイベントに参加いただき連携を図った。 (R4)観光PR大使に随時チラシやポスターを活用したイベントPR等を依頼するほか、イベントに招待し体験していただくなど、連携を図るよう努めた。
進行上の課題や問題点	(R4)より効果的な各種広報媒体の活用や、観光PR大使と連携したPR方法を検討する必要がある。
変更した理由	(R3) 観光産業は、新型コロナウイルスの影響を最も受けた産業の1つであり、本市においても観光入込客数及び観光消費額ともに大きく落ち込みをい見せた。今後、しばらくの間は、新型コロナウイルスと向き合いながらの対応にならざるを得ず、一気にV字回復を見込むことは現実的に厳しいところである。そのため、令和2年度をベースとして、令和7年度にはその50%増を成果指標として採用するものである。
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	産業観光部	課	農林振興課	係	有機・食農推進係
担当者	荒美 大作		直通	25-5036	内線	3153

①整理番号	章	6	節	4	具体的施策No. 施策名	35. 亀岡産農産物の高付加価値化 B8. 堆肥の活用	
②事業No.事業名	3 01.305.有機農業推進事業				事業実施期間	R3	～ R7
③新規・継続	新規	④事業区分	補助	国補助率	1/2	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)							

⑥事業が目指すSDGsの目標



⑦事業の概要及び目的

亀岡市元気農業プランに基づき、有機農業などの環境にやさしい循環型農業への支援を行います。
耕種農家と畜産農家との連携による畜産堆肥の活用促進、化学農薬及び肥料を使用しない有機農業の推進を通じ、将来世代にわたり持続可能な農業を構築し、農業生産者の所得向上と自然環境の保全の両立を図ります。

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組		事業費（円）	（活動）指標値	
R3	計画	①有機JAS認証取得支援制度創設 ②保育所・こども園給食への有機農産物提供開始	714,595	①②ともに開始
	実績	①有機JAS認証取得支援制度創設、運用開始（助成件数 5件） ②保育所・こども園給食への有機農産物提供開始（3園）	465,980	①創設 ②開始
		達成度		100%
		達成度（R3年度～R7年度累積）		20%
R4	計画	①市立小学校の給食への有機米提供開始 ②有機農業推進実施計画策定（R5～7）	7,074,000	①1校 ②策定
	実績	①保津小学校の給食への有機米提供（74回） ②有機農業推進実施計画策定（R5～9）	9,510,954	①1校 ②策定
		達成度		100%
		達成度（R3年度～R7年度累積）		40%
R5	計画	①小学校・保育所・こども園給食への有機農産物提供体制の拡充 ②有機JAS認証者数増加	15,053,000	①2校・5園 ②10人
	実績	①有機米（保津小61回、全小学校21回、全保育所12回）、有機野菜（全小学校6回、保育所12回） ②有機JAS認証者数 7組	22,359,113	①18校・8園 ②7人
		達成度		85%
		達成度（R3年度～R7年度累積）		95%
R6	計画	①小学校・保育所・こども園給食への有機農産物提供体制の拡充 ②有機JAS認証者数増加	36,828,000	①4校・7園 ②13人
	実績	①有機米（保津小3回、全小学校77回、全保育所12回）、有機野菜（全小学校3品目延82回、4保育所等12回） ②有機JAS認証者数 7組	32,660,048	①16校・8園 ②7人
		達成度		77%
		達成度（R3年度～R7年度累積）		85%
R7	計画	①小学校・保育所・こども園給食への有機農産物提供体制の拡充 ②有機JAS認証者数増加		①6校・8園 ②16人
	実績			
		達成度		%
達成度（R3年度～R7年度累積）			%	

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方	有機農業の市内への浸透を図る指標として、給食への有機農産物提供学校数・保育所・こども園数及び市内での有機JAS認証取得者数を指標とする。
------------------------	--

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果) 指標値
期間を通じた目標	小学校給食の使用米に占める有機米比率	毎年度対前年度比増
R3	実績 有機米づくりの試行実施	0%
R4	実績 保津小学校の給食への有機米提供（74回）	0.65%
R5	実績 小学校給食への有機米提供（保津小61回、全小学校21回）	16.47%
R6	実績 小学校給食への有機米提供（保津小3回、全小学校77回）	52.4%
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	有機農業推進の主要施策として学校給食への有機米提供増加を主要施策としていることから、小学校での有機米導入比率を指標とする。
-----------------------	---

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	（R6）有機米生産者数の増加に伴い、提供数も着実な増加を見せた。収量の増加に向け、勉強会や生産者同士の意見交換会を開催した。
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	

第5次亀岡市総合計画 進行管理調書

主管室・部/課/係	室・部	産業観光部	課	農林振興課	係	森林・鳥獣対策係
担当者	大西 博之		直通	25-5094	内線	3156

①整理番号	章	6	節	5	具体的施策No. 施策名	14. 森林経営管理制度の運用の推進		
②事業No.事業名	311.森林整備事業（森林経営の集積化）				事業実施期間	R3	～ R7	
③新規・継続	継続	④事業区分	単独		国補助率	-	府補助率	-
⑤広域連携の取組 (該当する場合はチェック)								

⑥事業が目指すSDGsの目標

⑦事業の概要及び目的

森林所有者と担い手をつなぐ仕組みを構築し、森林の経営を確保する森林経営管理制度の運用を推進する。
--

⑧活動指標（アウトプット指標）

取組		事業費（円）	（活動）指標値
R3	計画	意向調査実施計画の策定、集積計画の策定	1計画 1箇所
	実績	意向調査実施計画の策定、集積計画の策定	1計画 1箇所
		達成度	100 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）	20 %
R4	計画	集積計画策定	3箇所
	実績	森林経営管理権森林調査	2箇所
		達成度	33 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）	27 %
R5	計画	集積計画策定	3箇所
	実績	森林経営管理権森林調査	2箇所
		達成度	33 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）	33 %
R6	計画	集積計画策定	3箇所
	実績	森林経営管理権森林調査	2箇所
		達成度	66.7 %
		達成度（R3年度～R7年度累積）	46.2 %
R7	計画	集積計画策定	3箇所
	実績		
		達成度	%
		達成度（R3年度～R7年度累積）	%

活動指標（アウトプット指標）の具体的な考え方	意向調査を行い、森林所有者から森林を預かり受ける集積計画の件数を活動指数とする。
------------------------	--

⑨成果指標（アウトカム指標）

指標		(成果) 指標値
期間を通じた目標	集積計画策定面積	50ha
R3	実績 集積計画策定面積	89ha
R4	実績 集積計画策定面積	89ha
R5	実績	
R6	実績	
R7	実績	
令和7年度における達成度		%

成果指標（アウトカム指標）の具体的な考え方	集積計画を策定した面積を成果指数とする。
-----------------------	----------------------

⑩達成度を上げるために工夫した点や改善した点・進行上の課題や問題点・変更した理由など

達成度を上げるために工夫した点や改善した点	
進行上の課題や問題点	
変更した理由	
その他	